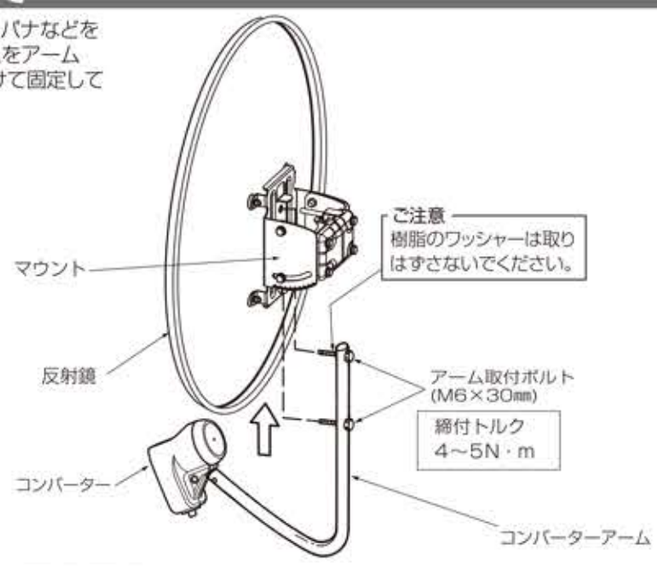
アンテナの組み立て

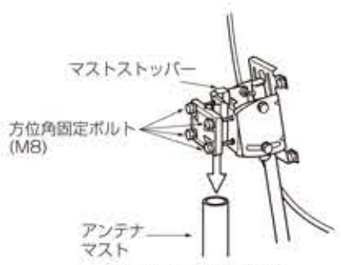
●反射鏡裏面のマウントに、スパナなどを用いて、コンバーターアームをアームボルトでしっかりと取り付けて固定してください。



アンテナマストへの取り付け

〈アンテナマストの先端に取り付ける場合〉

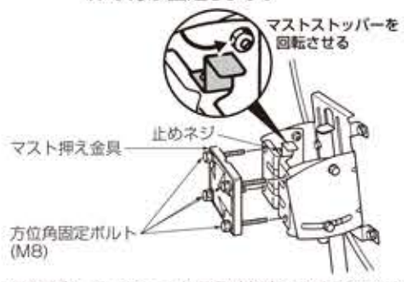
マストがマストストッパーに当たるまで差し込み、方位角固定ボルト(M8)を左右均等に締めて仮止めします。



●取り付け可能なマストは、直径38㎜～76.3㎜のものです。

〈アンテナマストの中間に取り付ける場合〉

①マストストッパーの止めネジを緩めます。
②マストストッパーをマストが当たらない位置まで回転させ、止めネジを締め付け固定します。



●仰角は23～55度までマストの中間に取り付けることができます。

※地域によっては、中間取付ができませんので、ご注意ください。
③方位角固定ボルトを緩めマスト押え金具をはずします。
④マストをマウントとマスト押え金具ではさみ、方位角固定ボルト(M8)で仮止めします。

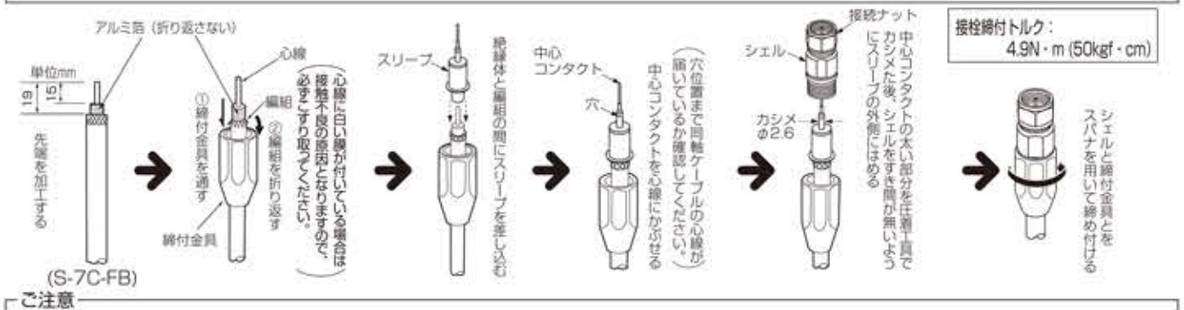
最終的な固定はアンテナを最良の受信方向に調整した後行います。

接栓への同軸ケーブルのつなぎ方 <S-7C-FBと防水形F形接栓の接続例>

(単位：㎜)

接栓の種類によって同軸ケーブルとの接続方法が変わります。

- 7C相当の同軸ケーブルをご使用になる場合: 防水形F形接栓をご使用ください。4K･8K放送(3224MHz)に対応したS-7C-FBの低損失のケーブルをお勧めします。
- 5C相当の同軸ケーブルをご使用になる場合: F形接栓と付属の防水キャップをご使用ください。4K･8K放送(3224MHz)に対応したS-5C-FBの低損失のケーブルをお勧めします。

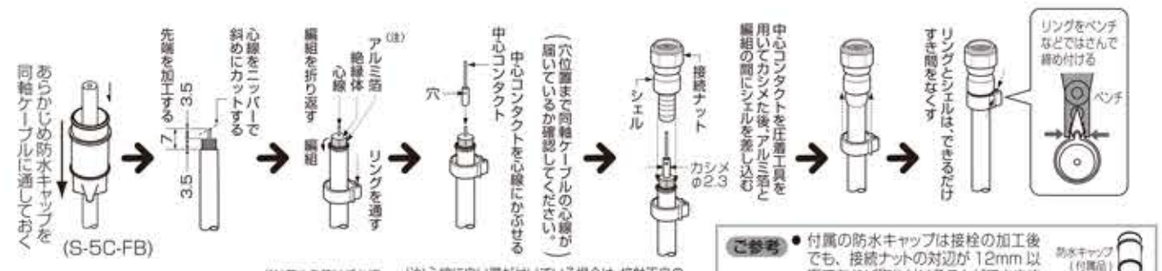


ご注意

- 接栓は同軸ケーブルに適したサイズのものをご使用ください。
- 同軸ケーブルの先端処理をする場合、心線、編組に傷をつけないでください。断線の原因になります。
- 編組と心線が接触しないようにしてください。テレビが見えなくなるだけでなく、電源部がショートして火災や感電の原因となります。
- 接栓を取り付けた同軸ケーブルの心線は、曲がっていないかを確認し、曲げないように接続してください。
- 加工方法はご使用になる防水形F形接栓の取扱説明書をご覧ください。

接栓への同軸ケーブルのつなぎ方 <S-5C-FBとF形接栓の接続例>

(単位：㎜)



ご参考 ● 付属の防水キャップは接栓の加工後でも、接続ナットの対辺が 12㎜ 以下であれば取り付けることができます。

ご注意：接栓の加工後に防水キャップを通す際は、心線で手を突くなどしてけがをしないようご注意ください。(特に冬季などの低温時は防水キャップが硬くなり、通しにくいためご注意ください)

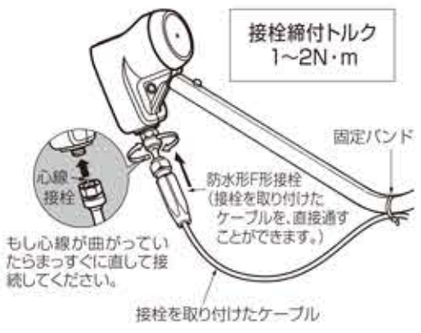
ご注意

- 接栓は同軸ケーブルに適したサイズのものをご使用ください。
- 同軸ケーブルの先端処理をする場合、心線、編組に傷をつけないでください。断線の原因になります。
- 編組と心線が接触しないようにしてください。テレビが見えなくなるだけでなく、電源部がショートして火災や感電の原因となります。
- 接栓を取り付けた同軸ケーブルの心線は、曲がっていないかを確認し、曲げないように接続してください。
- 加工方法はご使用になる防水形F形接栓の取扱説明書をご覧ください。

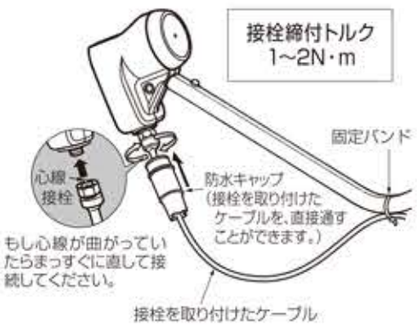
出力端子への接栓の接続と防水処理

図のようにコンバーターの出力端子に接栓を接続し、スパナなどでしっかりと締め付けてください。このとき、必要以上に締め付けると出力端子を破損する恐れがありますので2N･mを超えるトルクで締めないでください。

〈防水形F形接栓の場合〉



〈F形接栓の場合〉



出力端子に接続した接栓は、図のように確実に防水処理を施してください。

〈防水形F形接栓使用のコンバーターの防水処理〉

①自己融着テープを巻き付けます。

自己融着テープ(付属品または市販品)は、長さ1.5倍に引張りながら巻いてください。
巻き終ったら指でおさえて密着してください。

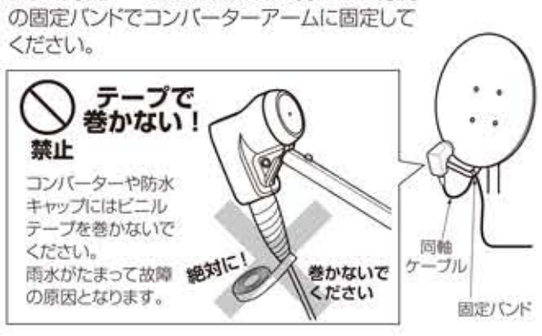
②さらにその上にビニールテープ(市販品)を巻き付けます。

同軸ケーブルに通しておいた防水キャップをコンバーターの防水キャップ溝に差し込んでください。

ご注意

防水キャップは、コンバーターの防水キャップ溝の奥まで確実に差し込んでください。

防水キャップが曲がったり、変形してはずれないように同軸ケーブルにはゆとりを持たせて付属の固定バンドでコンバーターアームに固定してください。



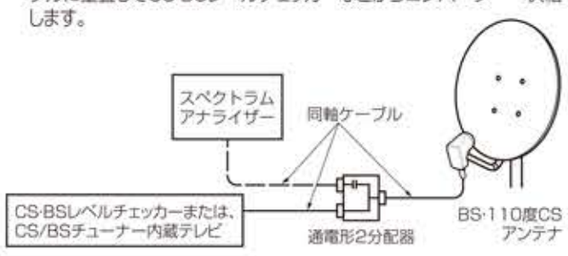
アンテナを調整する

■ アンテナの方向調整

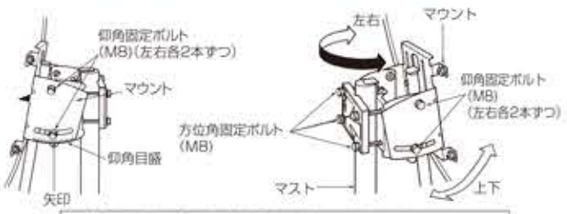
BS･110度CSアンテナの正確な方向調整はCS･BSレベルチェッカーまたはスペクトラムアナライザーなどを用いる方法について説明します。

①BS･110度CSアンテナをCS･BSレベルチェッカーに接続するか、または通電形2分配器などを用いて、スペクトラムアナライザー、CS/BSチューナー内蔵テレビなどに接続してください。

②コンバーター電源(DC15V)は通電形2分配器などを介して同軸ケーブルに重畳してCS･BSレベルチェッカーなどからコンバーターへ供給します。



③下表からアンテナ設置地区のおよその仰角と方位角を求めます。
④マウントの4本の仰角固定ボルト(M8)を緩めます。
⑤マウントの仰角目盛を設置地区の仰角に合わせて仮固定します。
⑥マウントの方位角固定ボルト(M8)を緩めます。
⑦市販の方位磁石を用いてアンテナを先に求めた方位角の方向に向けます。

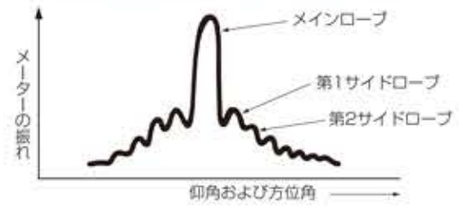


仰角固定ボルト締付トルク　12～14N・m

⑧アンテナの方向を左右にゆっくりと振ってCS･BSレベルチェッカーの入力レベルが最大となる方向に調整し、アンテナが左右にずれないよう方位角固定ボルト(M8)を仮止めします。
⑨仰角固定ボルト(M8)を緩めてアンテナの方向を上下にゆっくり振って、CS･BSレベルチェッカーの入力レベルが最大となる方向に調整し、アンテナの方向が上下にずれないよう仰角固定ボルト(M8)を仮止めします。⑥、⑧、⑨の操作を繰り返し行なってください。

※この時、サイドローブと間違えないために、最大入力レベルを通り越して次のピークとなるところまで仰角および方位角を調整して、図の特性になっていることを確認してください。その後、最大入力レベル時(メインローブ)の仰角および方位角にアンテナの方向を戻してください。

(仰角および方位角/メーターの振れ) 特性

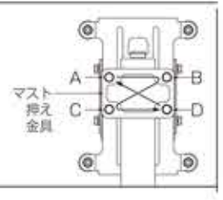


⑩最良の受信状態となった位置で、マスト押え金具の方位角固定ボルト(M8)を方向がズレないように左右交互に締めしっかりと固定します。
⑪最後にCS･BSレベルチェッカーの入力レベルを確認しながら仰角の調整を行い、最良の状態で4本の仰角固定ボルト(M8)を締めて、しっかりと固定してください。

ご注意

方位角固定ボルト (M8)は4本が均等に締まるように、右図のAからDまで順番に2、3回転ずつ締めてください。

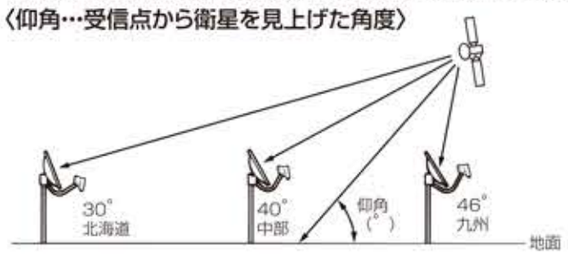
締付トルク　8～10N・m



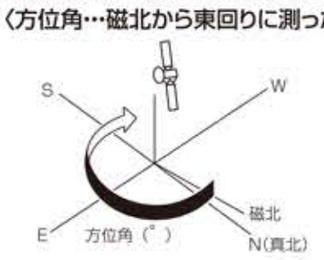
■ 主な都市でのBS･110度CSアンテナの仰角と方位角

仰角、方位角は地域により異なります。同じ地域でも場所により多少異なりますので、下表をご参照ください。

〈仰角…受信点から衛星を見上げた角度〉



〈方位角…磁北から東回りに測った衛星の角度〉



※磁北…方位磁石が示す北

■主な都市でのBS･110度CSアンテナの仰角と方位角の目安 （地域や場所によって異なります）

都市名	仰角(°)	方位角(°)	都市名	仰角(°)	方位角(°)	都市名	仰角(°)	方位角(°)	都市名	仰角(°)	方位角(°)	都市名	仰角(°)	方位角(°)
稚内	29.1	227.4	宇都宮	37.2	230.5	浜松	40.1	229.2	神戸	41.6	226.1	福岡	45.2	220.4
旭川	30.1	229.0	水戸	37.0	231.3	富山	38.7	227.2	姫路	41.8	225.3	大分	44.9	222.4
釧路	29.6	231.6	前橋	37.9	229.6	金沢	39.2	226.6	和歌山	42.0	226.4	熊本	45.8	221.4
札幌	31.2	228.2	土浦	37.4	231.2	岐阜	40.1	227.6	鳥取	41.4	224.2	佐賀	45.6	220.5
函館	32.5	228.2	大宮	37.9	230.6	名古屋	40.1	228.0	松江	41.9	222.6	長崎	46.3	220.3
青森	33.3	228.8	浦和	38.0	230.7	豊橋	40.2	228.8	岡山	42.3	224.4	宮崎	46.2	223.1
盛岡	34.0	229.9	千葉	37.9	231.1	津	40.8	227.7	広島	43.4	222.7	鹿児島	47.0	222.1
秋田	34.6	228.7	東京	38.0	230.9	福井	39.8	226.4	徳島	42.5	225.7	奄美大島	50.5	223.2
仙台	35.3	230.5	甲府	38.7	229.5	大津	40.9	226.7	高松	42.6	224.9	那覇	53.6	222.4
山形	35.6	229.9	厚木	38.4	230.7	京都	41.0	226.5	松山	43.7	223.5	宮古島	56.3	219.6
福島	35.9	230.4	横浜	38.3	231.0	奈良	41.4	226.7	高知	43.5	224.8	西表島	57.6	217.5
新潟	36.6	228.6	長野	38.2	228.4	大阪	41.5	226.5	山口	44.3	220.9	石垣島	57.4	218.0
郡山	36.3	230.5	静岡	39.4	229.8	堺	41.5	226.5	北九州	44.7	220.9	与那国島	57.9	215.6

※表の方位角は方位磁石が示す北(磁北)から時計回りにみた時の角度です。方位磁石を使用する場合の参考に使用してください。
※マストの中間取付時の仰角調整範囲は23～55度です。

規格特性

品名	60形BS･110度CSアンテナ	コンバーター局発位相雑音 (dBc/Hz)	−55 (1kHzオフセット) 以下 −73 (5kHzオフセット) 以下 −83 (10kHzオフセット) 以下
型番	BC604S	コンバーター電源(ケーブル重畳) (V)	DC 13.2～16.5 2.4W以下 (DC15V入力時) 注2)
アンテナ有効径(cm)	60	コンバーター出力インピーダンス (Ω)	75 (F形)
受信偏波	右旋円偏波/左旋円偏波	耐風速 (m/s)	受信可能風速20、復元可能風速40、破壊風速60 注3)
受信周波数(GHz)	11.71～12.75/11.73～12.73	適合マスト径 (㎜)	φ38～76.3
コンバーター出力周波数(MHz)	1032～2072/2224～3224	仰角調整範囲 (°)	ポール先端取付時 23～67・ポール中間取付時 23～55
利得(dB)	アンテナ部 BS：35.9 CS：36.5 コンバーター部：53 注1)	方位角調整範囲 (°)	0～360
コンバーター雑音指数(dB)	0.45 注1)	質量 (kg)	4.2
G/T (dB/K)	BS：16.8 CS：17.4 注1)		

注1) 利得（アンテナ部）、コンバーター雑音指数、G/Tは標準値です。
注2) コンバーター電源の規格は、コンバーター出力端子に必要な電源電圧です。
注3) 受信可能風速：アンテナに風圧を加えている間、電気的性能の劣化が許容範囲内であるときの最大風速。
復元可能風速：アンテナに風圧が加わった後、アンテナの方向を再調整することによって、電気的性能を満足する最大風速。
破壊風速：アンテナに風圧を加えている間、アンテナの一部または全部が飛散しない最大風速。

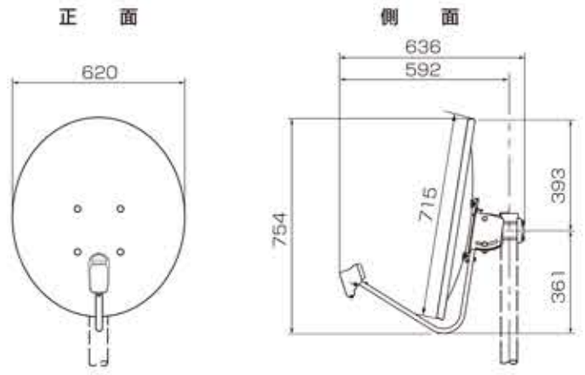
2K4K8K 2K･4K･8K放送対応マークは、BS･110度CS 2K･4K･8K放送(3224MHz)に対応した機器であることを示します。

SH SHマーク(スーパーハイビジョン受信マーク)は、BS･110度CS右旋放送受信帯域に対応した機器のうち、一般社団法人 電子情報技術産業協会で審査・登録され、一定以上の性能を有するスーパーハイビジョン衛星放送受信に適した衛星アンテナ、受信システム機器に付与されるシンボルマークです。

仕様は改良により、予告なく変更させていただくことがありますのでご了承ください。

外形寸法図

寸法はアンテナ仰角が40°マスト径φ48.6mmの場合の最外形寸法です。



(単位：mm)

※この製品を処分するときは、産業廃棄物として処理してください。

製品に関するお困りごとを解決！
Dサポ！ DXアンテナ サポートポータル
スマートフォンで各種設定方法がわかる➡
ホームページでも初期設定や、各種機能の詳しい手順を確認できます。
QRコードからアクセスしてください。

(1002)

保証書

型番	BC604S
ご販売店	ご住所・ご店名 電話(　　)　-
お客様	お名前 ふりがな　様 ご住所 □□□-□□□□　電話(　　)
お買上年月日	年　月　日
保証期間	お買上日から 1年間

※本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管ください。

●無料修理規定

1. 本保証書は、お買い上げから下記保証期間内に故障した場合、無料修理規定により、当社が責任をもって無料修理を行なうことをお約束するものです。(消耗部品は除く) したがって、この保証書によって保証書を発行しているもの(保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
2. 保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明な場合は、お買い求めの販売店、当社営業所またはカスタマーセンターにお問い合せください。なお、商品を直接当社へ送付した場合の送料などはお客さまのご負担とさせていただきます。
また、保証期間経過後の修理についても、お買い求めの販売店、当社営業所またはカスタマーセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。
3. 保証期間中、取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、お買い求めの販売店を通じて無料修理いたしますのでお申し付けください。
4. 次のような場合には保証期間内でも有料修理となります。
①ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷。
②お買上げ後の取り付け場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷。
③火災、地震、噴火、洪水・津波などの水害、落雷、その他の天変地異、戦争・暴動による破壊行為、公害、塩害、ガス害、ねずみや昆虫、鳥など動物の行為による損傷、指定以外の使用電源(電圧、周波数)や異常電圧による故障および損傷。
④塗装の色あせなどの経年劣化や、使用に伴う摩擦などにより生じる外観上の現象。
⑤用途以外(例えば車両、船舶への搭載など)に使用された場合の故障および損傷。
⑥本保証書を提示・添付されていない場合。
⑦本保証書にお買上げ年月日、お客様名、お買い求めの販売店の記入のない場合、または字句を書き換えられた場合。
5. 製品対価以上の保証はいたしません。
6. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。(This Warranty is valid only in Japan.)
7. 期間中の転居、贈答品、その他の理由によりお買い求めの販売店に修理が依頼できない場合には、当社カスタマーセンターまたは当社営業所にご相談ください。
8. お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

カスタマーセンター
土･日･祝日もご利用ください！
ナビダイヤル 0570-033-083
※全国一律料金でご利用いただけます。
※携帯電話･PHSからもご利用いただけます。
※ナビダイヤルは各社音声通話定額サービスの対象外となっております。
■ 受付時間 9:30～17:00 (夏季･年末年始休暇は除く)
■ 一部のIP電話で上記番号がご利用になれない場合：050-3818-9016
ホームページアドレス
https://www.dxantenna.co.jp/
DXアンテナ株式会社

(1908)

5166-5